



平成 24 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 MUTOH ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 早川 信正
(コード番号 7999 東証第 1 部)
問合せ先 経営管理本部 部長 阿部 利彦
(TEL. 03-6758-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 8 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	22,500	1,250	1,600	1,100	23.93
今 回 発 表 予 想 (B)	20,500	550	850	△ 400	△ 8.70
増 減 額 (B - A)	△ 2,000	△ 700	△ 750	△ 1,500	
増 減 率 (%)	△ 8.9	△ 56.0	△ 46.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	21,920	1,202	962	800	17.40

修正の理由

当第3四半期における経済環境は、超円高の長期化や欧州の財政・金融危機を発端とした世界的な景気減速懸念等により不安定な状況で推移してまいりました。このような情勢下において、当社グループは積極的な販売活動と経費の削減対策等を展開してまいりましたが、売上高ならびに利益ともに前回予想値を大きく下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

当通期累計売上高および営業利益では、アジア地域においては堅調に推移しておりますが、欧米地域における円高による影響が大きく、継続的に製品のコストダウンや販売費および一般管理費の削減等も実施してまいりましたが、前回予想値を下回る見込みとなりました。経常利益では、持分法適用会社に係わる負ののれん発生益が加わったものの急激な円高の進行を受けて為替差損を営業外費用として計上したこと等により、前回予想を下回る見込みとなりました。さらに平成23年5月31日にお知らせした欧州子会社の開発・製造関連部門の集約に伴い特別退職金および棚卸資産評価損等を特別損失として計上したこと、ならびに平成23年度税制改正による法定実効税率の引き下げに伴い繰延税金資産の取崩しを計上したことにより、当期純利益段階では前回予想を大きく下回る見込みとなりました。

なお、当期末の配当金につきましては、当初予想の1株当たり3円に変更はございません。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上